

週間漁海況情報 2026年第7号

令和8年2月17日発行

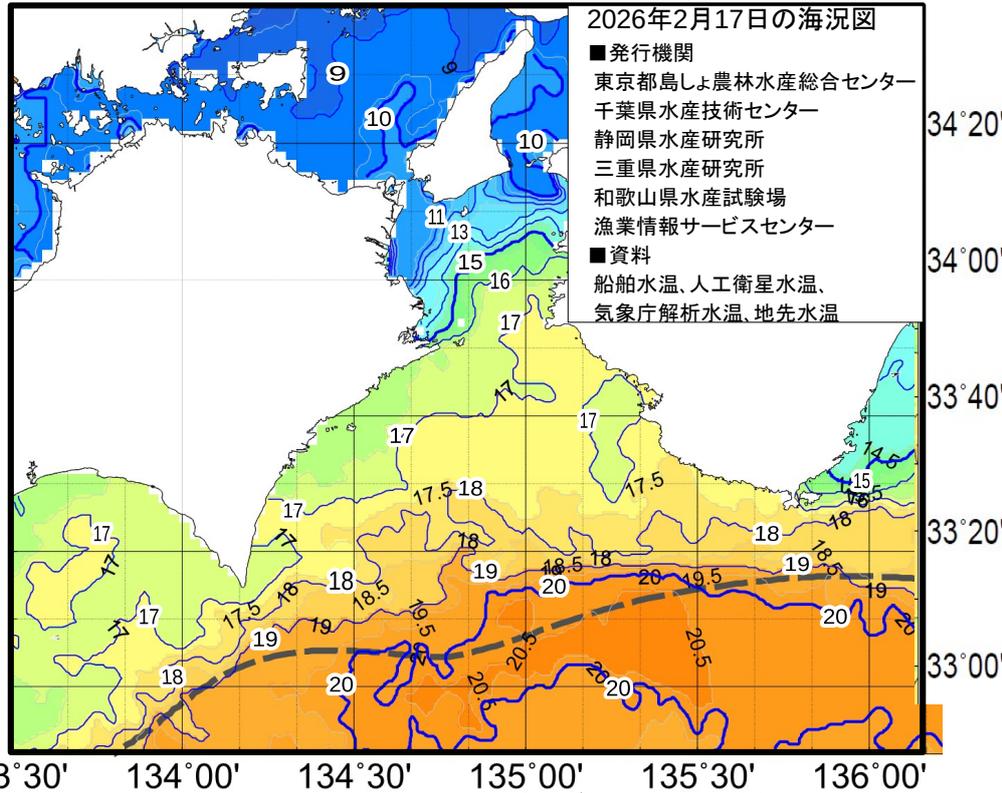
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は18～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で8～10、紀伊水道で10～16、海部沿岸で16～17℃台となっている。



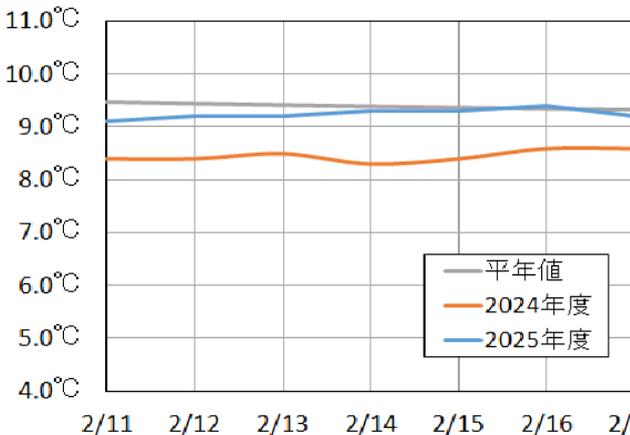
※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

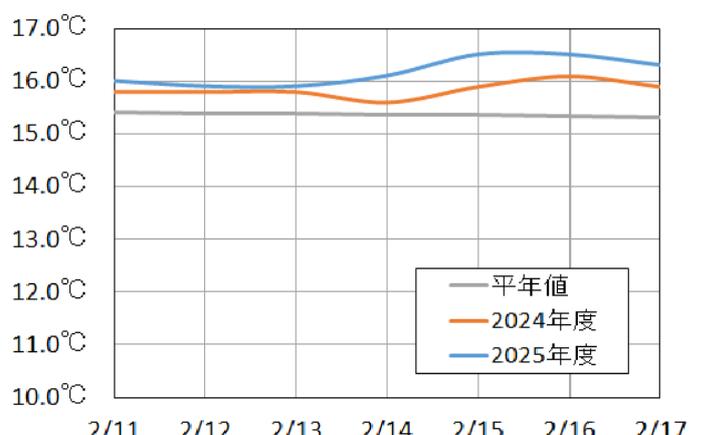
2. 地先水温(2月11日~2月17日)

鳴門地区の水温は、9.1~9.4℃で「平年並み」で推移。浅川地区は、15.9~16.5℃で「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、6.7~7.2℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(2月18日~2月24日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「平年並み」、浅川地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (2月9日～2月15日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

延縄では、あまだい類が0.5ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.3ト水揚げされた。
 底びき網では、いとより類が大きく増えて0.9ト、コウイカが減って大主体に0.7ト、
 ヒラメが大主体に0.4ト、あんこう類が大きく増えて0.4ト水揚げされた。
 建網では、カワハギが大きく増えて大主体に0.5ト、メジナが大きく増えて0.4ト水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが減って1.8ト、ヒラメが増えて大主体に0.4ト、
 ブリが大きく増えてめじろ級主体に0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

小型定置網では、アオリイカが大きく減って0.4ト水揚げされた。
 大型定置網では、マイワシが減って11ト、ブリが大きく増えて大主体に2ト、
 イサキが大きく増えて特大主体に1ト、マアジが小あじ主体に0.5ト、
 シリヤケイカが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比 [※]
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	56	あまだい類	531	9		→
		23	ブリ	323	14	めじろ級主体	↘
	底びき網	24	いとより類	850	35		↗↗
		23	コウイカ	688	30	大主体	↘
		22	ヒラメ	427	19	大主体	→
		23	あんこう類	410	18		↗↗
	建網	48	カワハギ	451	9	大主体	↗↗
		45	メジナ	401	9		↗↗
	小型定置網	24	マアジ	1,807	75		↘
		26	ヒラメ	392	15	大主体	↗
17		ブリ	352	21	めじろ級主体	↗↗	
海部沿岸	小型定置網	31	アオリイカ	395	13		↘↘
	大型定置網	6	マイワシ	11,009	1,835		↘
		6	ブリ	1,952	325	大主体	↗↗
		6	イサキ	993	166	特大主体	↗↗
		6	マアジ	517	86	小あじ主体	→
		6	シリヤケイカ	338	56		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘